

書、退院時要約など数種類の書類作成および解説については実務としての再確認ができ、非常に得るものが多い講習会でした。

2014年6月に開催の第16回日本医療マネジメント学会学術総会フリートークセッションでは、本講習会の講師でいらした松島先生と中村先生が座長となり、「医師事務作業補助者～育成とその課題：指導者育成と認定制度～」をテーマにされています。私は、2011年4月、当院での医師事務作業補助者部門立上げに伴い配置換えになり、現在、医師事務作業補助者としての実務以外に、新規業務や教育・研修、業務評価についての検討に携わっています。各方面から期待されている医師事務作業補助者に対する育成と課題について、本学会で検討いただけることに非常に期待しています。今後も医師が医師しかできない業務を行える環境を提供出来る様に関わっていきたくと考えております。

開催報告

支部学術集会

第12回青森支部学術集会

学術集会会長：黒石市国民健康保険黒石病院長 村田有志



会場風景

2013年9月7日(土)、ウェディングプラザ「アラスカ」(青森市新町1丁目)を会場に、県内から約200名の参加者を得て、第12回日本医療マネジメント学会青森支部学

術集会を開催いたしました。

特別講演ではJA長野厚生連佐久総合病院副統括院長・副院長の西澤延宏先生から「地方における病院マネジメント」と題してご講演を賜り、また、一般県民にも聴講を開放した県民公開講座では、「患者と医療者が協働する医療を目指して」と題してNPO法人「ささえあい医療人権センターCOML(コムル)」理事長の山口育子先生からご講演を賜りました。それぞれご専門のお立場からのご講演は、参加者に深い感銘をもたらしたものと確信しております。

一般演題は「医療安全・教育」や「災害対策」など6つのセッションにより、23題の発表について、参加者が活発な意見交換を行いました。

今回の大会運営にあたり、ご指導ご支援を賜りました関係各位に対し、深く感謝申し上げます。

第9回広島支部学術集会

学術集会会長：広島記念病院病院長 中井志郎

2013年9月7日(土)に広島市民病院講堂にて第9回日本医療マネジメント学会広島支部学術集会を開催しました。当日は、県内の医療施設から65名の参加者が集まりました。まずシンポジウムでは「TQM活動について」をテーマに広島県内の4病院の担当者から、取り組み事例の発表を頂きました。西中艶子先生(中電病院)より手術室業務を事例にした効率化への取り組み、原野雅生先生(広島市民病院)よりNSTにおけるチーム医療の取り組み、西原昌幸先生(マツダ病院)より医療の質管理とQC活動の取り組み、永澤昌先生と富士原則子先生(市立三次中央病院)より活動発表会を通じたTQM活動の取り組みの報告がなされました。

特別講演では、高知医療再生機構理事長の倉本秋先生に「地域医療の再生について」と題してご講演頂きました。高知での日本一のキャリア育成県を目指した医師のキャリア育成支援の取り組みや、救急医療などの地域医療支援について、熱意の溢れるお話となり、盛況のうちに閉会となりました。

本学術集会の開催にあたって、ご協力くださった関係各位の皆様には心より感謝申し上げます、開催の報告とさせていただきます。

第10回鳥取支部学術集会

学術集会会長：鳥取県済生会境港総合病院院長 稲賀 潔



会場風景

鳥取支部では2013年9月16日(月・祝)米子コンベンションセンター(米子市)にて「医療における院内連携と地域連携」をテーマに「第10回日本医療マネジメント学会

鳥取支部学術集会」を開催しました。県内各地から約220名の参加があり、特別講演、ランチオンセミナー、シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題(口演)28題、一般演題(ポスター)25題、クリティカルパス展示2題について発表や活発な討論が行われました。

シンポジウムでは、「院内感染制御の取り組み」と題し、鳥取県感染制御地域支援ネットワークの取り組みについて、浜松医科大学 堀井俊伸教授の基調講演に続き、圏域における活動報告、実際に支援を受けた病院の改善報告の発表がありました。特別講演はこうほうえん廣江 研理事長の「地域包括ケアと医療介護連携」、